



か え で ゆ う び ん 10月

2 0 2 0 年 1 0 月 1 日
社 会 福 祉 法 人 清 松 学 園
幼保連携型認定こども園 かえで保育園
園 長 引 地 美 津 代

心配していました運動発表会も保護者の方々の協力と子どもたちの力で無事終わることができました。今年は「運動発表会」を行うかどうか随分悩みました。この集いを行うことで感染が広がることも懸念しましたが参加人数を減らし、内容も子ども同士が接触することをできるだけ避けたものを考え行いました。結果的には0歳から2歳のクラスまでは参加を見合わせていただくことになりましたが、幼児のクラスの子供たちにとっては友達とともに過ごしてきた生活を保護者の方々に見ていただき大満足な一日になりました。乳児クラスの方々にはご協力いただきありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染対策も今後も緩んでいくことなく新しい生活様式を工夫して進んでいく事となりそうです。

保育園生活の中で一番危惧していますのは、保護者の方々に園内での子どもの様子や日々お子様が発見したり工夫して作っている作品や生活そのもの等をゆっくりと見ていただきにくい事、また、玄関先だけの短時間の対応でお子様の様子を十分に伝えられているのだろうか等、日々振り返りながらこれからの対応や保育園生活をどう進めていくか大きな課題となっています。

かえで保育園職員は送迎の際、保育だけでなく一人の社会人として保護者の皆様との会話の中で培っていくことを大切にしてきました。子どもたちはもちろんのこと、お母さんやお父さんの思いや考え方を聞き、共感したりともに悩んだり・・・

その大切にしてきた関係性を今後も深めていきたいと切に願っております。

今後、園として対応してける内容や新たに導入することをお知らせし、安心して頂けたらと思います。

～導入します～

- 1) 体温の計測を瞬時にできるサーモスタットを導入しました。運動発表会に使用しましたが今後は入館されるお子さま・保護者の方も図っていただく予定です。
- 2) 連絡ノート新しいシステムで対応します。
乳児クラスのお子さまの様子をより一層お伝えできるよう携帯やPCを使用し、記録するシステムを導入する予定です。(連絡ノートの変更)・・・11月頃から随時進めていきます。
詳しくは後日お知らせします

10月5日(月)より以前に行っていた方法に戻し、少しずつ館内に入ってください予定です。

登園

- 1) インターホンで知らせる
- 2) 消毒をし、サーモスタットで保護者・お子様の熱を計測し、用紙に記入する
- 3) 入館カードをタッチする
- 4) 職員に預ける
幼児・・・ニコニコ広場で職員にお子様を預けてください
乳児・・・ふたば室内の前までお子様を連れてきてください
- 5) 速やかに退出ください

降園時

- 16:30までは玄関対応
16:30以降は園庭にてお渡しします。

今後も感染症の拡大の兆しが出た場合、入室禁止とする場合もあります。

よいこネット・園の掲示板をよく見てください

朝夕めっきり涼しくなり過ごしやすくなりました。

10月1日は十五夜、かえで保育園の裏庭にはススキが秋風にそよそよと揺られています。

「お月見」の日のおやつにはススキを飾ったり、「月見団子」を食べられるのを楽しみにし、ことしも「秋」を感じたいと思います。ご家庭でも食後、ご家族でお月見をしてみてもいいのではないでしょうか。

今年度も来年度の入所希望の方々が入園前の園見学に来て下さっています。コロナ感染症の関係でしばらく見学は延期していましたが9月頃から再開し、「待っていました」とばかりに見学依頼の電話が続々と入り、ご案内させて頂いています。園庭からしかご案内ができませんが室内を見て頂き、テラスや玄関先だけのお話となっていますが新しい方との出会いの時間はうれしいものです。

来られる方はきっとドキドキしながらの園見学、少しでもみなさまに寄り添い、ありのままのかえで保育園のことをお伝えできればと思っています。

主幹保育教諭 藤森寿美

ここ数か月、かえで保育園ではかえるが大流行しています。園庭で大きくなったかえるを見つけると、「かいたい！」とケースのなかへ。“生き物を飼う”ということが、子どもたちの中でどのような感覚なのだろうと思い、様子を見守ることにしました。

“土と水がいる”というところまではわかり準備をしていたのですが、図鑑で“ごはんを食べる”という情報を手に入れたようで、ケースの中はご飯粒でいっぱい…。

ご飯粒を集め一緒に図鑑で調べると、土や水の他に、草や隠れる石もいることを知りました。まずは自分たちで考えてみる、試してみることを大切に考えています。子どもが経験している過程や感じている姿を見届け、“今”というタイミングで手を差し伸べることができれば、と必要な関わりを見つけているところです。

それからかえるが飛び出して天井を登ったり、お世話を忘れてしまったり、ケースを園庭に置き忘れていたり…様々な失敗を重ねていくうちに、子どもたちの気持ちにも変化が表れてきました。まだ命の重さや尊さを感じるころまでは達していません。しかし、生きることや命の存在に気付くだけでも、一歩前進だと思うのです。

かえるが生き延びるためには、生きている虫を捕まえて、ケースの中へ入れなければなりません。かえるにも命があるように、虫にも等しく命があることに気付いた時、子どもたちの心にどのような気持ちが芽生えるのだろうと思いながら、私自身も納得のいく答えは出ていません。

かえるの気持ちや虫の気持ちを想像しながら観察を続ける子どもたちと共に、これからも命に触れ感じていきたいと思っています。

主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：「戸外で葉っぱやお花、自然に触れて遊ぶことを楽しむ」

うた：「トウキョウトニホンバシ・おおきなくりのきのしたで・まっかなあき」

室内であそぶ方が楽しいと思っていためばえ組ですが、水あそびや泥んこを繰り返すとお部屋よりも外で遊びたいとなっていました。鉄棒にぶらさがったり、築山をのぼったり活発に動きまわっています。今まではみんな知らなかった階段も発見し、階段も一步一步上手にのぼれるようになりました。過ごしやすい季節となりました。秋風を感じながら日中は元気いっぱいあそびます。

“お部屋が新しくなりました”

子どもたちがゆったりと自由に体を動かして過ごすことができるように、階段マットやトンネル、坂道マットを敷いていました。子どもたちも園生活に慣れ、一人あそびができるようになってきました。自分のつかっていたおもちゃという認識もできてきたので、新しい環境に変更しました。積み木を高く積んだり、型落としを満足するまであそぶことができるようにじっくりとあそぶスペースを広くしました。畳のスペースでは、ぬいぐるみやがらがらのおもちゃで心地よくまったりとした空間で過ごせるように。残りの空間では、トンネルや坂道マットで体を動かすことができるように3つの空間で過ごしていきます。短時間でも椅子に座ってあそぶということも経験ができるように机上あそびも少しずつ取り入れていけたらいいなと考えています。短時間でも集中してあそぶという積み重ねを大切に過ごしていきたいです。



“えのぐでぬりぬり”

はじめての絵の具あそび、準備をしていると“なにがはじまるのかな”と興味津々でのぞきこんで保育者の様子をみている子どもたち。絵の具に触れると色がつくということよりも絵の具のぬるっとした感触を楽しみ、両手を握ってみたり腕に塗ってみたり、それぞれに楽しむ姿が見られました。その後、紙にぺたっと触ると色がつくことがわかり紙にぬりぬりと真剣な表情でしていました。やはり、この感触が得意な子ばかりではないです。苦手な子もいるので、お友だちがしている横で見てみたり保育者が目の前でしてみたりしています。絵の具ではなくてもクレヨンやペン、色鉛筆などで子どもの興味のあるもので同じようなあそびの経験ができるようにしました。今回の場合は、幼児の部屋に遊びに行った際、偶然色鉛筆がでていたのをみつけ握るとそのまま力強く集中して色塗りを楽しんで素敵な作品ができました。初めてとの出会いはそれぞれのタイミングで心地の良いものになるようにお手伝いしていきます。



“担任の思い”

先生にやってもらっていたことを自分でやってみたいと意欲ができました。エプロンの片付けも“貸して”と先生が渡す準備をしていると手を出して待ってくれるようになりました。その姿を回りの子もみているので、はいはいしながらおもちゃをカゴに片づけたり、手をつないで歩くと自ら誘導してくれたり、子どもたちのできることは大人の物差しでは決めてはいけないうちも再認識させてくれます。子どもたちは“出す”ことも大好きですが“入れる”も同じくらいに大好きです。お片づけも「ここに入れてね」の声掛けでとても張り切ってお手伝いをしてくれます。これからもたくさんの成長がみられるのが楽しみです。

立田瑛怜菜 宝田聖美 柴原ちはる

～ふたばぐみ～

ねらい：「秋の自然にふれる」「友達と散歩を楽しむ」

うた：「どんぐりぐころころ」「やきいもじゃんけん」「このここのこ」

9月になってまだまだ暑い日が続いていましたが、少しずつ風が気持ちよくなり涼しい日も増えてきましたね。園庭の築山の奥にはたくさんの落ち葉があり、涼しい風と共に少しずつ秋を感じるようになってきました。ボールを蹴ったり投げたり色水の道具を使ったり、幼児さんの真似をして様々なことに興味をもち、どんどん挑戦していく子ども達。これからもたくさん身体を動かしながら過ごしていきたいです。

おままごと

子ども達の遊びの様子から部屋を少し模様替えしました。手洗いコーナーをままごとコーナーにして、人形やぬいぐるみを出しました。おままごとが大好きな子ども達なので、大人気の場所になっています。うどんやおにぎり等好きな食べ物を、お皿いっぱい盛って、「どうぞ」と先生や友達に渡したり、お弁当を風呂敷に巻いて、部屋をぐるぐる友だちと散歩するなど毎日楽しそうな子ども達です。また、遊びの中でもスプーンを使ってご飯を食べたり、フライパンで「ジュージュ」と焼いている真似をしたりと普段の生活の様子を思い出しながら楽しんでいます。また、人形のお世話がどんどん上手になる子ども達。作ったご飯を食べさせてあげたり、布団をかけて寝かせてあげたり、優しい姿がたくさん見られます。めばえ組にも優しく接してくれています。少しずつですがお兄ちゃん・お姉ちゃんになってきましたよ。



感触あそび（はじめてののりあそび）

お部屋でたくさん感触遊びをしました。絵の具遊びは筆だけでなく自分で手や足などに絵の具を塗って紙の上を歩いたり、身体を使っておもいきり楽しめました。手形や足型を見て嬉しそうに見つめ「もう一回」と何度も繰り返していました。また、粘土を手のひらでころころ丸めたり、力いっぱい握って形を変えて遊びました。

また、今月は初めてののりを使って遊びました。指先に少しのりを取ることが

上手な子ども達に驚きました。指でのりを取る時は真剣な表情で、のりを紙に付ける時は「ペタペタ、トントン」と言いながら笑顔で貼りいろんな表情を見れました。のりで手がひっつく「べたべたするね」など保育者と会話を楽しみながらのりづけをしています。



“担任の思い”

ふたば組になって半年が過ぎ、友だちと一緒にしたい気持ちが増し、言葉でやりとりしながら遊ぶ姿も見られるようになりました。取り合いになった時は「かして」など、その時に保育者が伝え「かして」「ありがとう」等言えるようになってきました。言葉で伝えることで、「はい」と貸してあげたり「いいよ」と入れてあげたりができるようにもなりました。思いが伝わらなくて手が出てしまうこともあります。これからもっと子ども同士の関わりが増えていく中、保育者が要所で仲立ちしながら関わっていきたいと思います。

星加由美子・植木雅・松岡桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：「友達と一緒に遊ぶことを楽しむ」「秋の自然に触れる」

うた：「とんぼのめがね」「どんぐりころころ」

暑さも和らぎ、心地よい風が感じられるようになってきました。園庭に出ると「かぜふいてるね」「あつくないよ」と季節の移り変わりに気づいてお友だち同士でお話している姿がみられます。築山の上でごろんと寝転がり、風を感じて気持ちよさそうにしている子ども達もいて、自然を楽しむ様子に微笑ましくなります。本格的に秋になり、朝晩の寒暖差が大きくなりますが、体調管理をしながら秋の自然を感じ、たくさんの遊びを楽しみたいです。

絵の具遊び

つぼみ部屋の壁や床に貼られた大きな紙と絵の具を見て「なにをするの」「えのぐするの？」とワクワクドキドキした様子の子も達。パンツ1枚になって「さあはじめるよー！」と声を掛けると、少し緊張した表情でまずは手や足の裏に絵の具をつけてみました。絵の具の少し冷たいぬるった感触に何だかそわそわした様子でしたが、おそろおそろ真っ白な紙に手形や足型をつけてみると、とても嬉し



そうな顔を見せてくれました。赤や黄色、青などの絵の具の中から好きな色を選んで、どんどん夢中になっていき、最初は白かった紙も、みんなの絵の具が混ざって不思議な色に…。気がつくくと手や足、お腹や顔までもがカラフルになっていました。絵の具で色鮮やかになった体を見てお友達同士で笑い合い、絵の具をつけ合い、大盛り上がりのつぼみさんでした。全身で絵の具に触れ、色の変化を楽しみ、子どもの楽しさがたくさん詰まった作品が出来上がりました。手や足、体全体を使って全身で表現するとても貴重な経験になり「えのぐたのしかったね！」と大満足な様子でした。

くまさんゲーム

これまでも何度か挑戦したくまさんゲームですが、なかなかルールを覚えるのが難しく、十分に楽しめていない様子でした。9月に入り、子ども達の遊び方が変化する姿を見てもう1度くまさんゲームに挑戦し、保育者と少しずつルールを確認しながら遊んでみると、遊び方が分かってきたような表情の子ども達。何度か遊んだ後、子どもだけで遊ぶ様子を見守っているときちゃんとルールを理解し、子ども達だけで楽しめるようになっていました。子ども達だけで「できること」が遊びの中でも広がり、順番を守ってルールの中で遊べるようになったことを嬉しく思います。勝ち負けではなく、同じくまさんを見つけることを楽しむ子ども達の遊び方が今後どのように変化していくのか見守っていきたいです。



“担任の思い”

9月は砂や絵の具などの感触遊びをたくさん楽しむことが出来ました。引き続き楽しんでいる色水遊びでは、水の量を調節したり、色を混ぜてみたりと少しずつ遊び方にも工夫が見られるようになりました。友達同士で誘いあって一緒に遊ぶことが出来るようになり、子ども達の遊びや関わり方はどんどん変化しているように感じます。遊びや生活、様々な場面で子ども達と一緒に“自分で出来ること”が増えていく喜びを共有したいと思います。

今井奈沙 小坂橋円香 尾崎美緒



“みててね！”

運動発表会ではお子様の成長や異年齢での関わり、普段子どもたちが園で過ごしている様子を感じていただけたでしょうか。はまかぜの種目では、互いにときどきしながらもひかり組の子どもたちは一歩前に立ち、いぶき組の子どもたちに寄り添いながら関わろうとする姿から、また一回りお兄さんお姉さんになったように感じます。いぶき組の子どもたちは、緊張しながらも勇気を出していろんなことに挑戦しようとしています。

9月の園庭では身体を動かして遊び「先生見ててね！」と鉄棒で前回りや逆上がりなど繰り返し取り組みながら、見てもらう嬉しさを感じていました。大縄跳びでは、数人で行うことから互いに応援し合い、出来た時の達成感を共に感じているようでした。様々なことに挑戦する経験から一人ひとりの自信に繋がって欲しいと思います。

“かかわり”

気の合う友達と一緒に塗り絵をしたり、年上の子どもとカードゲームや大縄をしたりと異年齢で過ごすことも楽しんでいます。ひかり組の子どもたちはいぶき組のお世話をしてくれることも多く、いぶき組の子どもたちにとっては心地よい存在でもあり、頼ったりする姿も見られるようになりました。春頃、自分のことをすることや友達を遊びに誘うこともドキドキしてしまいうまく声もかけられませんでした。今は、身の回りのことを自ら進んで行おうとしたり、お兄さんお姉さんに助けてもらうことや子ども同士で考え、解決しようとしています。友達同士の関わりの中で意見や思いがぶつかり、上手くいかないこともあります。互いに納得できるやり取りも増えています。これから子どもたち同士の関わりがどのように変化し、深まっていくのかとても楽しみです。



“きっとできるよ”



園庭に出ると毎日のようにさくらんぼに挑戦していた A ちゃん。上手くできないときでも出来るまで何度も繰り返しながら楽しそうに行っていました。そんな姿を見ると私もやってみたくなりました。やったことがないさくらんぼでしたが「できるだろう！」と思い、A ちゃんと一緒にやることに…。すると、出来ない自分にびっくり。「え～先生でも出来ないの！」と子どもたちも驚いた様子。「こうやってやるんだよ」と教えてくれました。そんなことがあった翌日、「今日も一緒にしようよ」「教えてあげるから～」と子どもたちの声がありました。何度かやってもできない中「毎日したら絶対できるようになるよ」「諦めたらだめ～」と応援してくれました。「私だってできなかったけどたくさんしたら出来るようになったよ」と話す A ちゃん。何日か続けて行う中で、出来ると一緒に喜んでくれました。何かに夢中になったり、熱中している子どもたちはキラキラしています。諦めない気持ちや一つの事に夢中になれる姿を大切にしていきたいです。

“担任の思い”

日中は暖かく、夕方になると少し涼しくなり日が沈むのも早くなりました。虫の声や心地よい風から季節の変わり目を感じる中で、秋の自然に触れたり、園外に出掛ける機会やさつまいも掘りなど周りの環境の変化や食に触れることも楽しんでいけたらと思います。運動発表会を終えた10月でも、みんなで身体を動かして遊んだり、好きなことが継続して楽しめるようにしていきたいです。

山本 あかね

“園庭は おもしろいことでいっぱい！”

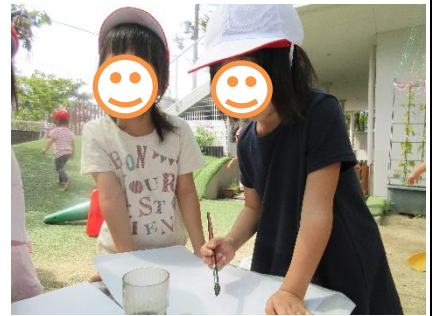
水遊びをたっぷり楽しんだ8月。少し涼しい風が吹いてきた9月では、外あそびを楽しむ子どもたちの様子も少し変わってきました。子ども達のなかで盛り上がっている遊びをひとつ紹介します。畑にたくさん育ってきたさつまいもの葉やツルを少しちぎって、すり鉢で擦っていきます。するとだんだん、ねばねばになります。感触や色が変わっていくことが楽しくて、ほとんど液状になるまで一生懸命すり続けています。

ねばねば汁ができあがると、指ですくって感触を楽しんだり、匂いを嗅いで少し顔をしかめながら「いい匂い！」と（本当は野菜独特の匂いがします。子どもたちにとっては少し苦手なおいかもしれませんね）友達と匂いを確かめ合う姿も見られます。

また絵の具の代わりとして、絵を描くことも楽しみました。ただ食べるだけの栽培ではなく、様々な遊びに繋がっていきます。

さつまいもだけでなく、園庭には様々な自然物がありますが、かつらの木の紅葉が始まったことに気が付いた子どもたちもいました。「なんで黄色になるのかな。」「風に吹かれてきれいだね。」など、様子をよく観察していました。

これからも季節の移り変わりに気付いたり、自然に触れて楽しむことを大切にしていきたいです。



“たいせつな いのち”

今、幼児の部屋には生き物コーナーがあります。園庭で見つけたダンゴムシやカマキリ、カエルなどがいるのですが、生き物たちにはそれぞれお父さん役やお母さん役がいます。

せっかく見つけたから、返したくないから、ではなく、ひとつの命として、みんなで大切にしています。

友だちと相談したり、図鑑とにらめっこしたり、どうすれば大切に育てることができるのか、考える姿が見られたり、生き物たちが生き延びるための食べもの（主にクモなど生きている小さな虫）を探すことに一生懸命な毎日です。遊んでいる途中でも、自分のお昼ごはんの前でも、いつでも自分が大切にしている生き物のことが心のなかにいるようです。

時には虫かごから逃げ出したり、食べ物が見つからずに悪戦苦闘することもあります。大切に育てていく様子を、私たちもそばで見守っていきたいです。



“担任の思い”

昔に比べると、自然に触れる機会も少なくなっていますが、今を生きる子ども達にも、実際に目で見、触れて、においをかいだりなど、五感を通して自然を感じて欲しいと思っています。

命に触れることも、時には動かなくなったり、きれいごとばかりではありませんが、人生のなかで一番心が動く今の時期に、いろいろな物に触れることを大切にしたいと考えています。小さな失敗をたくさん経験しながら、心が育っていく様子をそばで見守り、時には一緒に悩んだり、気持ちに共感しながら、心が動く瞬間を大切にしていきたいです。

林 奈津美

～だいちぐみ～

ねらい：「自分の気持ちを大切にする」「相手に伝わりやすい言葉で伝えようとする」

う た：「ともだちっていいな」「だいだいだいぼうけん」

“最後の運動発表会”

だいち組 15 人みんなで力を合わせて頑張ろうと話し合う中、今までかえで保育園で過ごしたことをお家の人にも伝えたいという意見が出ました。御前浜の海で泥んこになりながら走ったこと、夙川に足をつけながら食べたおにぎりが美味しかったこと、みんなで地図を見ながら目指している甲山への気持ちと思い出を振り返るうちに子どもたちからも伝えたいことがたくさん出てきました。同時に身体を使って表現することやみんなで揃える難しさを感じていました。

パラバルーン最後の技の『みんなの家』は、だいち組 15 人が集まれる居場所としてかえでマークを見せることで見ている人も分かるかなと子ども達で案を出し合っていました。始めは 1 番前に並ぶ人がかっこいいと考える子もいましたが、様々な役割を実際に経験することで、大変さや自分の役割を全うする姿が見られるようになりました。みんなで息が揃った時には「今のいい感じだね」「ここで座っちゃったな…」「次はできるようになるよ」と 15 人全員でしたい思いは練習を重ねるにつれて、子ども達の心に高まってきたようです。「次はもりぴーのところからね」「パラバルーンしようよ」と早く見てもらいたい気持ちと真剣に楽しむ姿が見られました。

運動発表会当日はたくさんの人に見守られながら、自信をもって表現する楽しさを見てもらうことができ、少しずつ心も身体も成長する様子を見ていただきました。



“担任の想い”

お泊り保育（泊まることが出来ないため、名前を子どもたちと考え中）では、一人ひとりが自分の気持ちを大切に伝える機会であってほしいと思います。どんなことをしたいか、やってみたいことがたくさんあって楽しさが膨らみながら話し合いが進んでいます。これから『最後の〇〇』が増えてきますが、今しか経験できないことをたくさん楽しむ思い出づくりになればと思います。自分のやりたいことをみつける中で、子ども同士で共通の興味から協力することができた運動発表会、ここからだいちとして様々なことを深めていきたいと思います。

日笠 加菜

～先生コーナー

運動発表会でやってみたいことを子ども達と考えている時の話。今まで過ごしたかえで保育園での思い出を振り返りながら、身体を使って表現することや技の形を話し合っていました。めばえ組の頃から一緒に過ごしてきた仲間ですが「小学校に行ったらなかなか会えなくなるね」「毎日一緒にいるのにね」と『最後の〇〇』を実感し始めているようでした。

私が幼い頃、自分自身がうまくいかなくても力を合わせて見守ってくれる仲間がいること、何気ないことも自分のことのように一緒に喜んだり、悲しむ経験ができたからこそ落ち着ける居場所、先生や友だちと出会うことができました。その仲間とは今でも遠く離れていても繋がっているように感じます。子どもたちにもこれからいろんな場所で様々な人との出会いがあるのだなと感じながら、かえで保育園が子ども達や保護者の方にとってもいつでも戻って来れる、心温まる居場所になってほしいです。

運動発表会后、野球やサッカーからみんなでルールを考えながら遊ぶ姿や、友だちが作る作品を見て「ここが可愛いよね」「どうやって作ったか教えてほしいな」と心の中で感じた素直な気持ちを伝える姿が見られます。お泊り保育（日帰り）の話しあいから、協力することで楽しさ感じたり、自分の気持ちを素直に話すことができる機会になってほしいと思います。

日笠 加菜

三井住友銀行のギャラリーみんなの作品 ～かがやけ！かえでのこどもたち～



保護者の方からのお話コーナー

「あんぱんまん」と「ばいきんまん」しか喋らなかったのが「はい、どーじょ」や「おいしい」など少しずつ言葉が出るようになってきました。他のお友達と比べるとまだまだ遅いですが、自分のペースで成長してくれたらと思います。

つぼみ組 ゆうこさん

先日、私が体調を崩した時。
息子がビニール袋を広げながら「ケボする時はここにしておね」と用意してくれ、布団をかけてトントンして寝かしつけようとしてくれました。普段乱暴な扱いを受けているけど、こういう一面もあるんだなあと少し安心しました。

いぶき組 みよこさん

いつの間にか私も娘も会話の前後に「コロナが終わったら」と言うのが口癖になっていたの
で、先月「コロナが終わったらやりたい事ランキング!!」を書きました。やっぱりかえでのお友達と一緒にずーっと遊びたいが1位でした！残り半年しかない園での生活を楽しく元気に過ごしてね！

だいち組 つぐみさん

生き物が大好きで、お家では釣りのゲームに夢中、お外では夙川で魚やカニを見つけて大はしゃぎしています！

いぶき組 ゆきさん

「ひかりになったら、保育園の準備は自分でしようね」といぶきの頃から話していたのですが、本当にひかりになった途端、身の回りのことを自分でできるようになりました。家に帰るとすぐに洗濯物を出して次の日の用意をしています。朝の用意も自分で着替えたり、歯を磨いたり、すすんでしてくれるようになりました。急にお姉さんになり、頼もしいです。

ひかり組 ゆみこさん

保育園から送られてきた2枚のDVDが好きな息子。しばらく保育園を休んでいた時も、今も家にいるとよく見ています。ダンスを踊っている姿がとてもかわいいです。私たち親も歌詞や振り付けを覚えるようになり、一緒に楽しんでいます。先生の動きも真似をしたりして、周りを和ませてくれます。
第3段があれば嬉しいです。

ふたば組 かえさん

生き物にとっても興味がある彼。
何か新しい生き物やめずらしい生き物を見つけると、とても楽しそうに観察しています。図鑑も好きで、自分の見つけた物を調べたりもしています。
これからも色々な事に興味をもって知識を吸収して欲しいと思います。

だいち組 ゆみこさん

☆お台所より☆

朝夕がすいぶん涼しくなり、秋晴れの空と、爽やかな秋風が心地よい季節になりましたね。10月の献立も美味しい秋の食材を多く取り入れて、子供たちと一緒に実りの秋を味わいたいと思います。

～9月の食育活動の様子～



幼児クラスの子どもたちが、お昼に使うとうもろこしの皮むきをしました。

「とうもろこしの毛がふわふわして気持ちいいな」と頬に当てていたり、固くて取れにくい皮を「手伝ってあげる」といってみんなで引っ張って取っていました。全クラス分で30本ほどあったとうもろこしもあっという間に仕上げてくれて「きれいにむけたよ」と見せに来てくれる子もいました。最後はみんなで机や床に落ちていた皮を拾ってお片付け競争をしてきれいに片づけてくれました。

おやつのはらびもちをだいち組の子どもたちの前で作りました。

はらび餅粉に水を入れて混ぜていると、「白くて牛乳みたい」「もう美味しそう」と話していました。さらに火にかけて混ぜていくとだんだん透き通ってくる様子を見て「透明になってきた」「ねばねばしていてスライムみたいだね」「あんなにサラサラな粉だったのに魔法みたい」など不思議に思ったことをたくさん話していました。

9月の誕生日会のケーキは巨峰と園で収穫したマスカットを使いました。

毎月のケーキを楽しみにしてくれていて「今日のケーキはどんなケーキなの？」と朝から聞きに来る子がたくさんいました。マスカットのことを話すと「保育園のぶどう使うんだ、やったあ」と嬉しそうに話していました。「ケーキのおかわりください」とやって来る子が多く用意していたおかわりもすぐになくなってしまいました。



お昼ご飯の冬瓜スープに使う冬瓜を、つぼみ組と幼児の子どもたちに触ってもらいました。

つぼみ組では「大きなすいかみたい」触ってみると「重たいな」と話していました。幼児の子どもたちは「大きいアボカド?」「形が長いかぼちゃ?」など不思議そうに答えていた後、目の前で冬瓜を切ってみました。「中に種がある」「皮は緑だけど中は白くて面白い」など思ったことを話していました。ごはんを食べ終わった後「触った時は皮が硬かったから美味しくないのかなと思ったけど、白いところは柔らかくて美味しかった」と給食室に伝えに来てくれる子もいました。



～10月の献立に使う旬の食材～

・鮭 ・さつまいも ・柿 ・しいたけ ・しめじ ・ごぼう

～10月に予定している食育活動～

- ・お月見団子
- ・流しそうめん
- ・収穫したさつまいもでさつまいもごはんを作る。
- ・かぼちゃの種取り
- ・根菜類の皮むきと包丁を使って切る。



- 下記の日程で保育実習生を感染症対策を行いながら受け入れます。

10月5日～15日 海星女子学院大学 1名

10月19日～29日 武庫川女子短期大学 2名
神戸教育短期大学 1名

こんなことしたよ♪

9月11日(金)はクラルテによる人形劇がありました。
会場を目の前にするとどんなお話が始まるのかワクワクしていました。
劇中はドキドキしたり、笑ったりといろんな表情が見られました。
登場する人形に喜んだり、お話に夢中な子どもたちでした。



9月26日(土)は運動発表会がありました。今年では幼児だけの運動発表会になり、保護者の方も人数が限られた中での開催でしたが、子どもたちのこれまでの成果や成長した姿を見ていただけたと思います。
気持ちのいい秋空の下、子どもたちの元気な声とたくさんの笑顔が見られました。
お忙しい中ご参加くださった保護者の皆様、乳児クラスの方も保育にご協力頂きありがとうございました。



★お願い★

- 体調管理をしてください。
衛生管理に努め、丁寧に消毒等を行っていますが新型コロナウイルスの終息はまだです。お子様の発熱・体調不良の場合保育はできません。登園時の検温でも微熱があった場合もお迎えを要請します。ご理解、ご了承ください。また、解熱しても2～3日はご家庭で様子を見ていただき無理をして登園することは避けてください。
その際、ご兄弟の方も一緒に家庭保育をお願いします。
- 保護者の方がお休みの家庭保育をする際にはご兄弟と一緒に休みください。
病院や健診など受診の際には、ご相談下さい。保育を利用する際には9～16または16:30までのお迎えにご協力をお願いします。
- 着替え等は持ち帰った分を翌日持ってきて頂くようご準備ください
- 園で着用する衣服などの名前が記入できているか再確認をお願いします。



10月予定

10月17日(土)
お手紙でお知らせしています。
だいちお泊り保育(日帰り)のため土曜日保育はありません。
ご協力をお願いします。

5日(月) 歯科健診 10:00～
7日(水) そうめん流し
20日(火) 誕生会
23日(金) 全園児 お弁当日
1・8・15・22・29日(木) 体操
9・21日(金・水) 絵画

～各小学校就学前健診～

26日(月) 香櫨園・今津
28日(水) 用海
11月2日(月) 浜脇